

#StayHome From 甘楽中図書館#4 2020/5/20

おうちで本を読もう！

～ 「生き方に迷ったら」読んでみてほしい本 ～

① 「14歳の君へ～どう考えどう生きるか」(池田晶子 著、毎日新聞社)

君は生きていることは、つらいことだと思っているだろうか。

つらいこと、思うようにならないこと、望んでもいないこと、たくさんあるよね。あるいは、とくにこれと言ってつらいことがあるわけではないけれど、なんとなく面白くない、つまらない、そう感じているだろうか。

…普段はあまり考えない、考えようとしなくてつい過ぎてしまうこと。「人生」「個性」「戦争」「幸福」など、「どう考えどう生きるか」を筆者と一緒にじっくり考えてみよう。自分が生きていくためのヒントになる考え方がきっと見つかる。

② 「21世紀に生きる君たちへ」(司馬遼太郎 著、朝日出版社)

さて、君たち自身のことである。／君たちはいつの時代もそうであったように、自己を確立せねばならない。

自分に厳しく、相手にはやさしく。

という自己を。

そしてすなおでかしこい自己を。／21世紀においては、特にそのことが重要である。

歴史小説の大家であった、作者が21世紀を生きる子どもたちへ残した力強いメッセージ。

いつの時代になっても、人間が生きていくうえで、欠かすことができない心がまえは何か、ということを作作者が教えてくれます。これから生きるすべての子供たちに…。

